



TOEI ANIMATION

アニメに愛を、世界に夢を。

決算補足資料

2026年3月期 通期決算(2025/4~2026/3)

東映アニメーション株式会社





CONTENTS

01. 2026年3月期 業績報告
02. 今期の見通し
03. 今後の事業展望



01

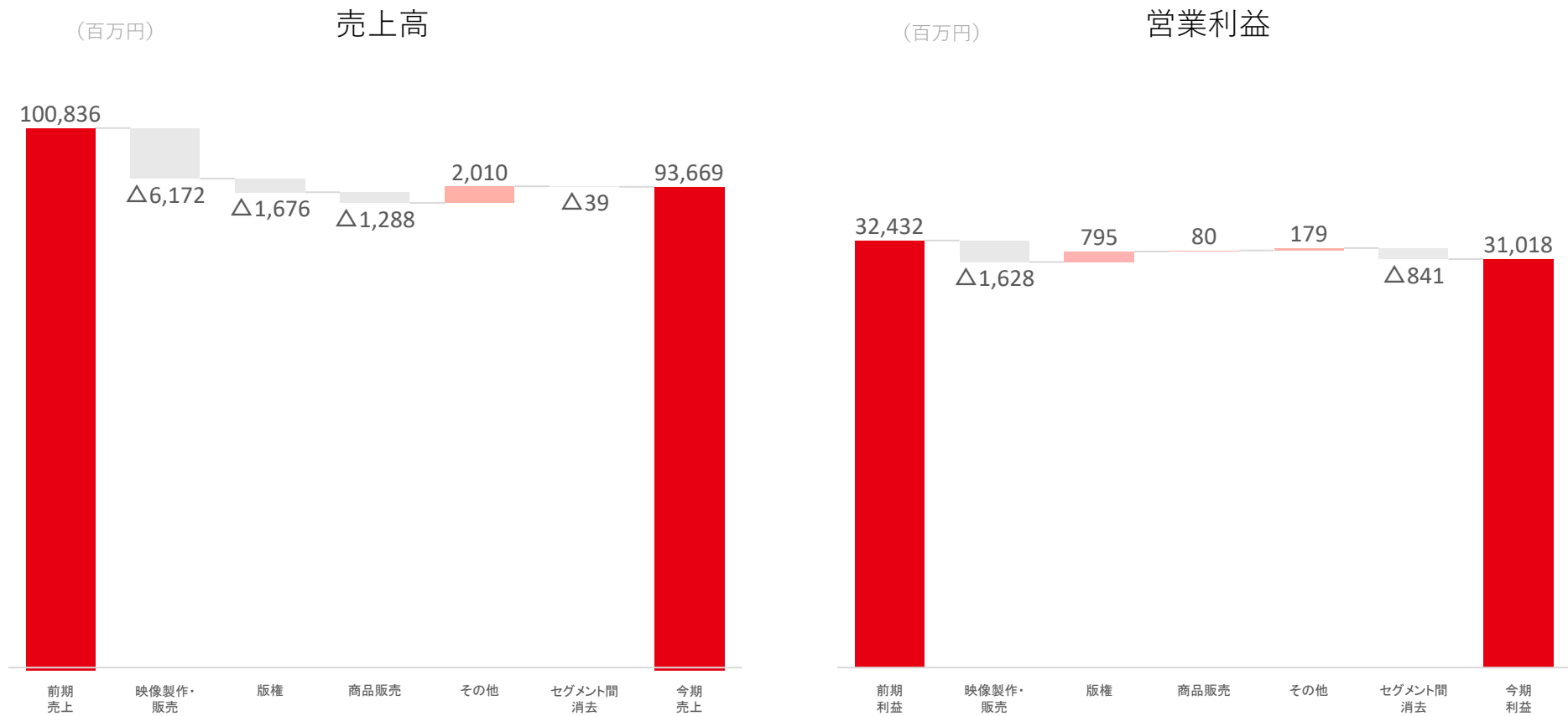
2026年3月期 業績報告

- 通期として、売上高、営業利益は過去二番目、経常利益・当期純利益では過去最高の水準を達成
- 前年同期に好調だった過年度公開した劇場作品の国内配信権販売や、「ドラゴンボール」シリーズの新作ゲーム化権販売等の反動から減収も、海外商品化権販売の好調を背景に、概ね同水準の利益を維持
- 収益性の高い海外商品化権販売の好調に加え、前年同期の新作映像分の製作原価減少により、利益率は向上

(百万円)	2026年3月期 累計			2026年3月期 第4四半期(2026年1月～3月)				
	実績	前年同期		実績	前年同四半期 25/03 4Q(2025年1月～3月)		前四半期 26/03 3Q(2025年10月～12月)	
		実績	YoY		実績	YoY	実績	QonQ
売上高	93,669	100,836	△7.1%	26,527	28,135	△5.7%	22,187	19.6%
売上総利益	49,203	48,422	1.6%	13,342	13,746	△2.9%	11,042	20.8%
販管費	18,185	15,989	13.7%	5,643	4,691	20.3%	4,363	29.3%
営業利益 (営業利益率)	31,018 (33.1%)	32,432 (32.2%)	△4.4% (1.0%)	7,699 (29.0%)	9,054 (32.2%)	△15.0% (△3.2%)	6,679 (30.1%)	15.3% (△1.1%)
経常利益	33,462	33,188	0.8%	8,384	8,819	△4.9%	7,174	16.9%
当期純利益	25,070	23,623	6.1%	7,151	6,716	6.5%	4,938	44.8%

前年度比増減

- 売上高は、主力作品を中心に海外商品化権販売が好調を維持するも、「スラムダンク」等の国内外配信権販売、及び「ドラゴンボール」シリーズの新作ゲーム化権販売の反動減を主因に減収
- 営業利益は、映像事業での減収に起因する減益幅が、前年同期対比での製作原価減少により一部相殺。また著作権事業は収益性の高い海外商品化権販売の好調により増益。結果、全体としては概ね同水準を維持



2026年3月期 セグメント別内訳（連結）

- 映像製作・販売事業は、「スラムダンク」、「ゲゲゲの鬼太郎」等の国内配信権販売、「ドラゴンボール」シリーズの海外配信権販売の反動減により、減収減益
- 著作権事業は、前年同期に好調だった「ドラゴンボール」シリーズのゲーム化権販売の反動を受け減収ながら、「ワンピース」の海外商品化権販売の好調等を主因に、減収増益
- 商品販売事業は、「スラムダンク」の商品販売の反動減等により減収も、「プリキュア」シリーズ他のショップ事業が好調に稼働し、減収増益
- その他事業は、「プリキュア」シリーズ、「ガールズバンドクライ」、「ゲゲゲの鬼太郎」等の催事が好調に推移し、増収増益

(百万円)		2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増減率
映像製作・販売事業	売上高	37,323	31,151	△16.5%
	セグメント利益	10,379	8,751	△15.7%
著作権事業	売上高	50,582	48,905	△3.3%
	セグメント利益	25,924	26,720	3.1%
商品販売事業	売上高	9,211	7,923	△14.0%
	セグメント利益	654	734	12.3%
その他事業	売上高	4,315	6,325	46.6%
	セグメント利益	176	356	101.7%
連結	売上高	100,836	93,669	△7.1%
	営業利益	32,432	31,018	△4.4%

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

(百万円)		25/03. 実績	26/03. 実績
売上全体		100,836	93,669
映像製作・販売事業		37,323	31,151
劇場アニメ		692	480
テレビアニメ		3,270	2,776
コンテンツ		583	475
海外映像		26,026	23,324
その他(国内配信等)		6,750	4,094
著作権事業		50,582	48,905
国内著作権		17,414	14,685
海外著作権		33,167	34,220
商品販売事業		9,211	7,923
その他事業		4,315	6,325

映像製作・販売事業 (↓ 前期比16.5%減)

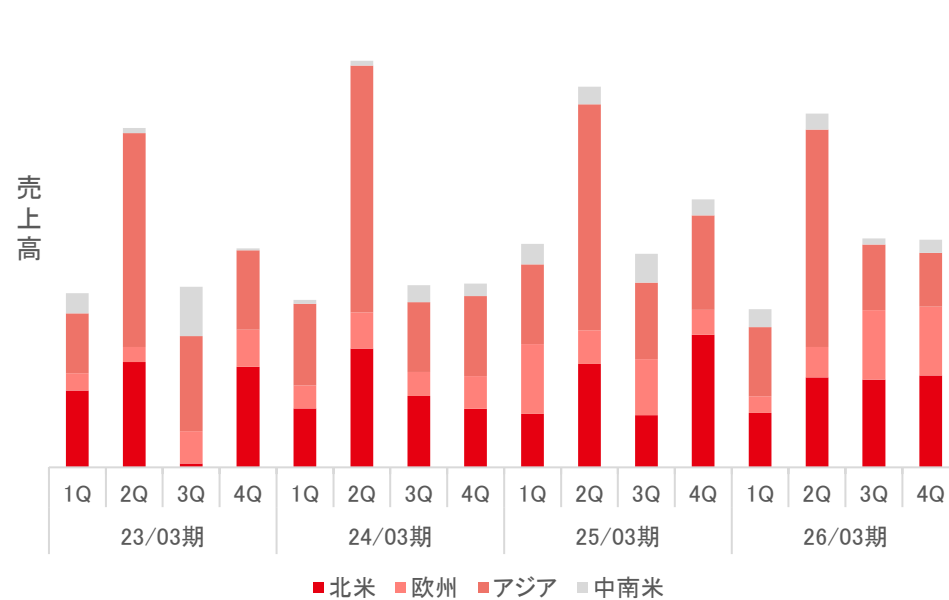
- 「劇場アニメ」は、「映画キミとアイドルプリキュア♪ お待たせ！キミに届けるキラッキライブ！」「劇場版総集編 ガールズバンドクライ【前編】青春狂走曲」「劇場版総集編 ガールズバンドクライ【後編】なあ、未来。」を公開したが、前年同期に公開した、映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎 真生版」程には至らず、減収
- 「テレビアニメ」は、前年同期と比較して放映作品話数が減少したこと等から、減収
- 「コンテンツ」は、「ガールズバンドクライ」のブルーレイ・DVDが好調に推移したものの、前年発売の映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」程には至らず、減収
- 「海外映像」は、「ワンピース」の配信権販売が好調に稼働したものの、「ドラゴンボール」シリーズの海外配信権・ビデオ化権販売の反動減により、大幅な減収
- 「その他」は、映画「THE FIRST SLAM DUNK」、映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」をはじめとした、国内の映像配信権販売の反動減により、大幅な減収

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

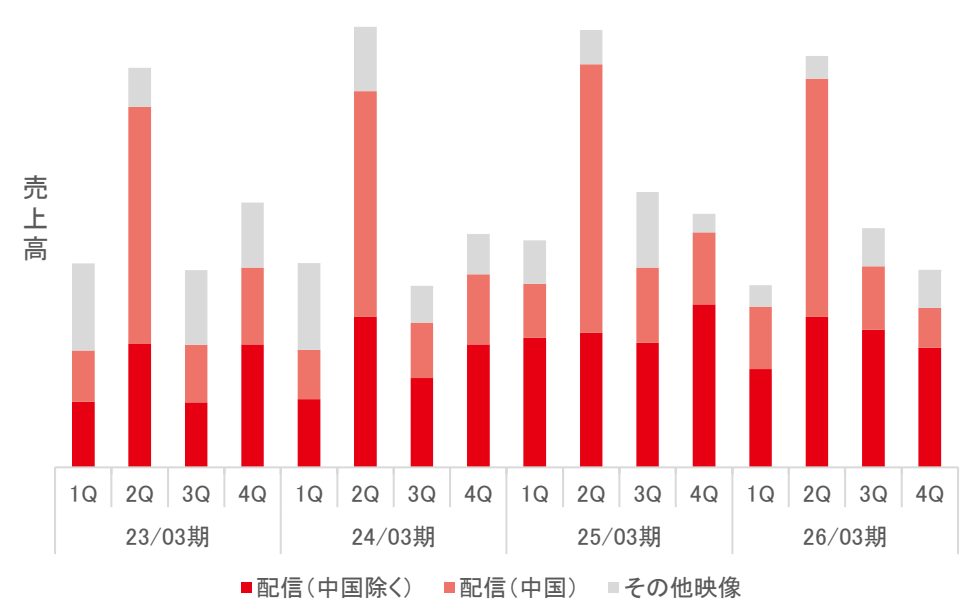
海外映像の状況

- 欧州は、「ワンピース」、「ドラゴンボール」シリーズのビデオ化権の一括計上等により、増収
- 配信権販売は、前年同期好調に推移した「ドラゴンボールDAIMA」の反動減を受け、全地域で減収

海外映像 売上高の推移



事業内訳



※子会社連結決算の都合上、左のグラフは連結、右のグラフは当社単体の数値を使用しております。



「映画おしりたんてい スター・アンド・ムーン」

- ・ 2025年3月20日公開
- ・ 2025年末より各種配信サービスにて配信中



「映画 キミとアイドルプリキュア♪
お待たせ! キミに届けるキラッキライブ!」

- ・ 2025年9月12日公開 / 国内興行収入 12.1億円
- ・ プリキュアシリーズ3作連続興行収入10億円突破



劇場版総集編「ガールズバンドクライ」

- ・ 2025年10月3日前編「青春狂走曲」公開
- ・ 2025年11月14日後編「なあ、未来。」公開
- ・ 韓国、香港、台湾、タイ等海外でも上映



「ゲゲゲの鬼太郎 私の愛した歴代ゲゲゲ」

- ・ 2025年4月より半年間放送
- ・ 鬼太郎ゆかりの著名人が選んだエピソードを放送



「DIGIMON BEATBREAK」

- ・ 毎週日曜朝9時より放送中
- ・ 英語吹替版も配信中



「名探偵プリキュア!」

- ・ 毎週日曜朝8時30分より放送中
- ・ ノンクレジットED YouTubeにて500万回再生突破

(百万円)		25/03. 実績	26/03. 実績
売上全体		100,836	93,669
映像製作・販売事業		37,323	31,151
	劇場アニメ	692	480
	テレビアニメ	3,270	2,776
	コンテンツ	583	475
	海外映像	26,026	23,324
	その他(国内配信等)	6,750	4,094
著作権事業		50,582	48,905
	国内著作権	17,414	14,685
	海外著作権	33,167	34,220
商品販売事業		9,211	7,923
その他事業		4,315	6,325

著作権事業 (↓ 前期比3.3%減)

- 「国内著作権」は、前年同期の「ワンピース」周年施策、「ドラゴンボール」シリーズ新作関連の反動減があり、前年同期の勢いには至らなかったことから、大幅な減収
- 「海外著作権」は、「ドラゴンボール」シリーズのゲーム化権販売の反動減はあったものの、「ワンピース」、「デジモンアドベンチャー」シリーズの商品化権・ゲーム化権販売が好調に稼働したことから、前年同期と比較して若干の増収

商品販売事業 (↓ 前期比14.0%減)

- 「ドラゴンボール」シリーズ、「プリキュア」シリーズのショップ事業が好調に稼働したものの、前年同期に好調に稼働した映画「THE FIRST SLAM DUNK」の商品販売の反動減により、大幅な減収

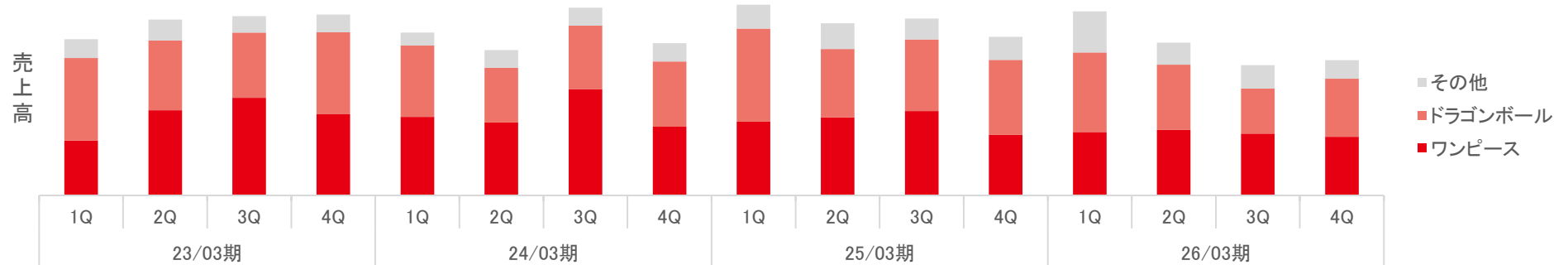
その他事業 (↑ 前期比46.6%増)

- 「プリキュア」シリーズ、「ガールズバンドクライ」の催事が好調に稼働したことから、大幅な増収

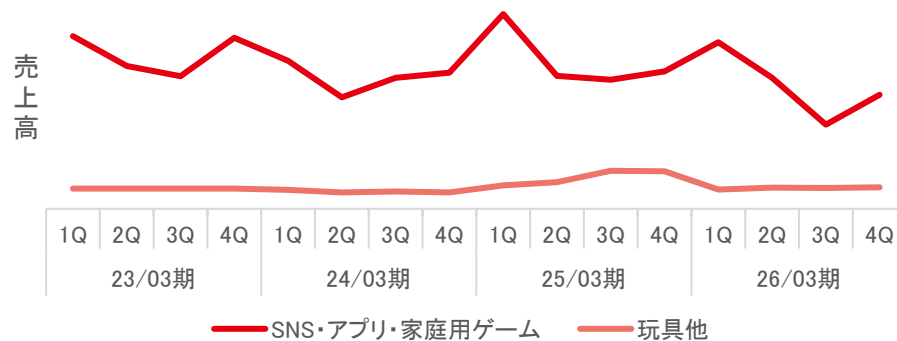
※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

- 「ドラゴンボール」シリーズは、ゲーム化権販売、商品化権販売共に「ドラゴンボール DAIMA」放送時の勢いには至らず、減収
- 「ワンピース」は、商品化権販売が昨年の周年イベント時の勢いには至らず、減収

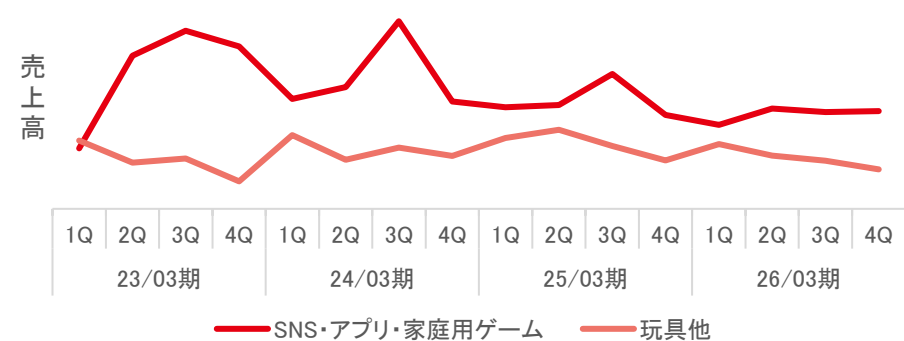
国内版権売上高の推移



ドラゴンボール国内版権売上高の推移



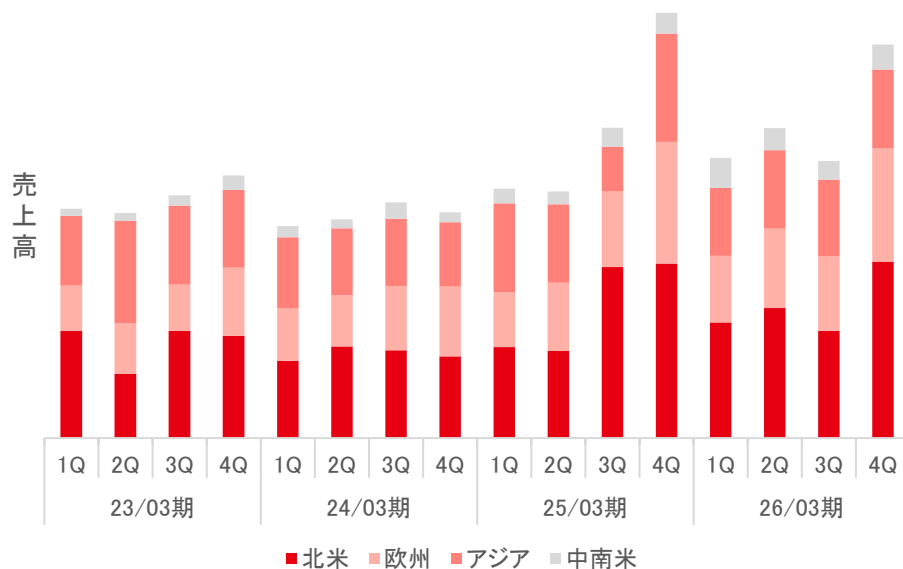
ワンピース 国内版権売上高の推移



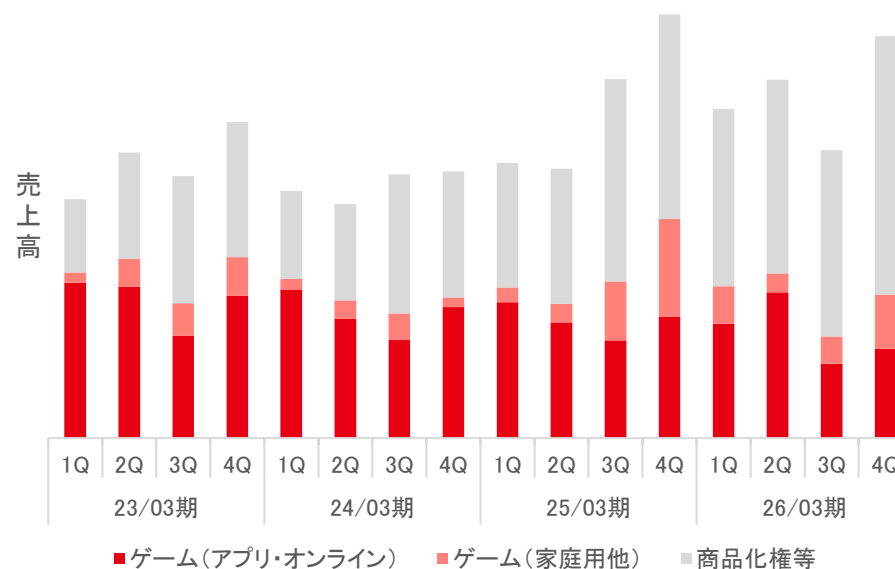
海外版権の状況

- アジアは「ワンピース」や「ドラゴンボール」シリーズの商品化権販売の反動減により減収
- ゲーム化権販売は、「デジモンアドベンチャー」シリーズの新作家庭用ゲームが好調に推移したものの、「ドラゴンボール」シリーズの家庭用ゲームの反動減により、減収
- 商品化権販売は、「ワンピース」の好調や、「ドラゴンボール」シリーズに関する大型契約の一括計上等により、増収

海外版権 売上高の推移



事業内訳



※子会社連結決算の都合上、左のグラフは連結、右のグラフは当社単体の数値を使用しております。

国内版權



「一番くじ プリキュア～Shining moment～」



「一番くじ ドラゴンボール
BATTLE OF THE SUPER SAIYAN」

海外版權



「デジモンストーリータイムストレンジャー」



「ONE PIECE カードゲーム」

商品販売



「プリキュア プリティストア東京店」

その他（イベント・催事）



「トゲナシトゲアリ LIVE
in 日本武道館 “奏樹の叫”」



「舞台『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』」

2026年3月期 決算総括

- これ迄精力的に取り組んできた"地域やIPの多様性とビジネスの広がりの追及"が効果を挙げ、前年度比減収ながら略同水準の利益を確保
- 事業基盤の拡充を企図した人件費増や、IP価値向上に向けた広告宣伝費増により営業減益
- 為替差益や有価証券売却益等の計上により、経常利益以下各種利益では増益

(百万円)

	25/03 実績	26/03 実績	増減	増減率
売上高	100,836	93,669	△7,166	△7.1%
売上原価	52,413	44,465	△7,948	△15.2%
売上総利益	48,422	49,203	781	1.6%
販管費	15,989	18,185	2,195	13.7%
営業利益	32,432	31,018	△1,414	△4.4%
営業外収益	1,780	2,464	684	38.4%
営業外費用	1,024	20	△1,004	△98.0%
経常利益	33,188	33,462	274	0.8%
特別損益	△378	713	1,092	-
税引前当期純利益	32,809	34,175	1,366	4.2%
法人税等	9,265	8,516	△748	△8.1%
法人税等調整額	△79	588	668	-
少数株主利益	-	-	-	-
当期純利益	23,623	25,070	1,446	6.1%

- 2026年以降に投入する新作の順調な制作状況を反映し、仕掛品は増加
- 関係会社株式等の評価額の増加により、投資その他資産が増加
- 流動負債の減少は、未払法人税の減少によるもの

科目	2025/03	2026/03	増減	科目	2025/03	2026/03	増減
現金及び預金	82,474	92,748	10,274	支払手形・買掛金	22,125	17,359	△4,765
受取手形及び売掛金	29,376	26,931	△2,444	その他	11,909	9,150	△2,759
仕掛品	8,281	11,375	3,093	流動負債	34,035	26,510	△7,525
製作品	109	48	△61	固定負債	3,745	4,721	975
その他	7,698	4,462	△3,236	負債合計	37,781	31,231	△6,549
流動資産	127,940	135,566	7,625	株主資本	138,553	154,581	16,028
有形固定資産	8,558	8,776	217	その他の包括利益累計 合計額	14,645	16,458	1,812
無形固定資産	1,281	1,435	153	純資産合計	153,198	171,039	17,840
投資その他の資産	53,199	56,493	3,294				
固定資産	63,039	66,704	3,665				
資産合計	190,980	202,271	11,291	負債及び純資産合計	190,980	202,271	11,291

02

今期の見通し



(百万円)	実績				予想	増減率
	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	27年3月期	
売上高	87,457	88,654	100,836	93,669	100,000	6.8%
販管費	12,296	14,085	15,989	18,185	22,000	21.0%
営業利益	28,669	23,364	32,432	31,018	25,000	△19.4%
営業利益（除戦略投資）					27,000	△13.0%
経常利益	29,791	26,453	33,188	33,462	25,600	△23.5%
当期純利益	20,900	18,795	23,623	25,070	18,100	△27.8%

業績予想の根拠

- 大型更新契約の前倒し計上や足元の政治経済環境に起因するビジネス影響を織込むも、主力作品の新作映像展開による売上拡大や二次利用の活性化等により過去最高水準に迫る売上高を目指す
- 新作映像投入による製作原価増に加え、中期経営計画/VISION2030に沿った各種戦略投資の着実な実施に伴い、営業減益を見込む

戦略投資概要

産み出す力

届ける力

①スタジオ

ベトナムに新規スタジオ設立準備

③地域展開

ドバイ拠点設立
アジアのパートナーシップ拡大

②IP

作品投資
全世界IP北米マーケティング施策

④顧客接点

海外ストア展開
在庫管理システム導入

⑤その他

インオーガニック推進体制構築
出資案件の検討加速

戦略投資 約150億円※

※戦略投資150億円については、作品投資や、BS計上の投資も含む

(百万円)	26/03 通期実績	27/03 通期予想
売上高	93,669	100,000
映像製作・販売事業	31,151	34,400
劇場アニメ	480	1,300
テレビアニメ	2,776	2,100
コンテンツ	475	300
海外映像	23,324	19,700
その他（国内配信等）	4,094	11,000
著作権事業	48,905	50,800
国内著作権	14,685	16,300
海外著作権	34,220	34,500
商品販売事業	7,923	9,500
その他事業	6,325	5,300
営業利益	31,018	25,000
経常利益	33,462	25,600
当期純利益	25,070	18,100

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

映像製作・販売事業（↑ 26/3期比10.4%増）

- 「劇場アニメ」は、上映本数の増加により、増収見込み
- 「テレビアニメ」は、新作本数の減少により、減収見込み
- 「コンテンツ」は、「ガールズバンドクライ」のブルーレイ・DVD販売の反動により、減収見込み
- 「海外映像」は、足許の政治経済環境に付随した大型契約更新等の不透明感を勘案し、大幅な減収見込み
- 「その他」は、2027年以降配信予定の大型作品の納品に伴い、大幅な増収見込み

著作権事業（↑ 26/3期比 3.9%増）

- 「国内著作権」は、「ドラゴンボール」シリーズの新作TV放送と連動した施策等により、大幅な増収見込み
- 「海外著作権」は、前年度好調に推移した新作家庭用ゲームの反動を受けるも、海外商品化権販売の好調継続を見込み、若干の増収見込み

商品販売事業（↑ 26/3期比19.9%増）

- 「ドラゴンボール」シリーズ、「プリキュア」シリーズにおけるショップ事業、EC事業の好調継続により、増収見込み

その他事業（↓ 26/3期比16.2%減）

- 「プリキュア」シリーズ、「ガールズバンドクライ」等の好調継続を想定も、作品ごとのイベント数増減を背景に減収見込み

- 2026年3月期の配当は、過去実績値を下限とする安定配当方針に則り、44円/株へ増配実施
- 2027年3月期の配当は、中期経営計画/VISION2030で掲げた財務KPIに沿い、健全性・戦略投資・株主還元のバランスを適切に取った上で、引続き安定配当を志向

中期経営計画/VISION2030 財務戦略方針

株主還元

基本方針

- ・財務の健全性、戦略投資、株主還元のバランスを取り、適切に運営
- ・堅牢な財務基盤を構築済、今後は戦略投資・株主還元重点配分

健全性

- ・堅牢な財務基盤、適切な現預金水準を維持
- ・事業展開の自由度、機動性を確保

自己資本比率：70%以上

戦略投資

- ・競争力強化/成長促進の為、有望な事業機会に積極投資
- ・非連続成長の観点からM&Aにも取組む

ROE：15%以上(最終年度)

株主還元

- ・過去実績額を下限とした安定配当が基本
- ・投資戦略や業績に応じ柔軟に水準決定

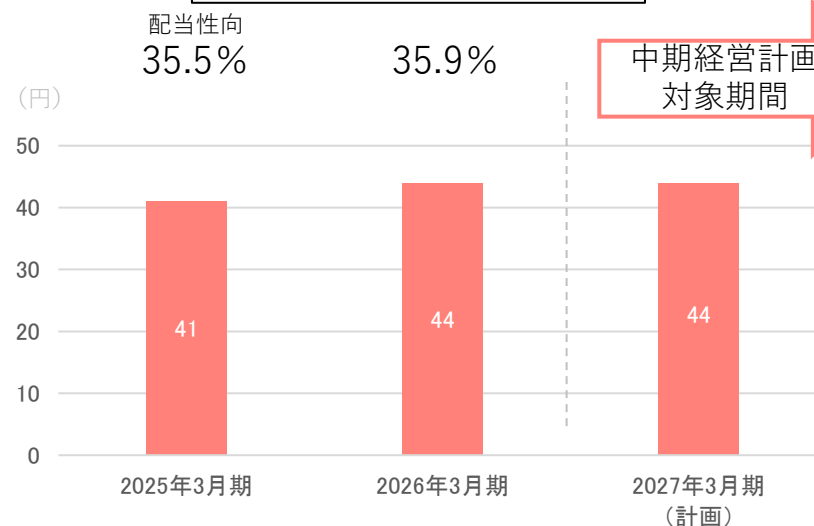
配当性向：40%以上
 総還元性向：50%目途(最終年度)

2026年3月期

一株当たり予想配当

41円 → 44円

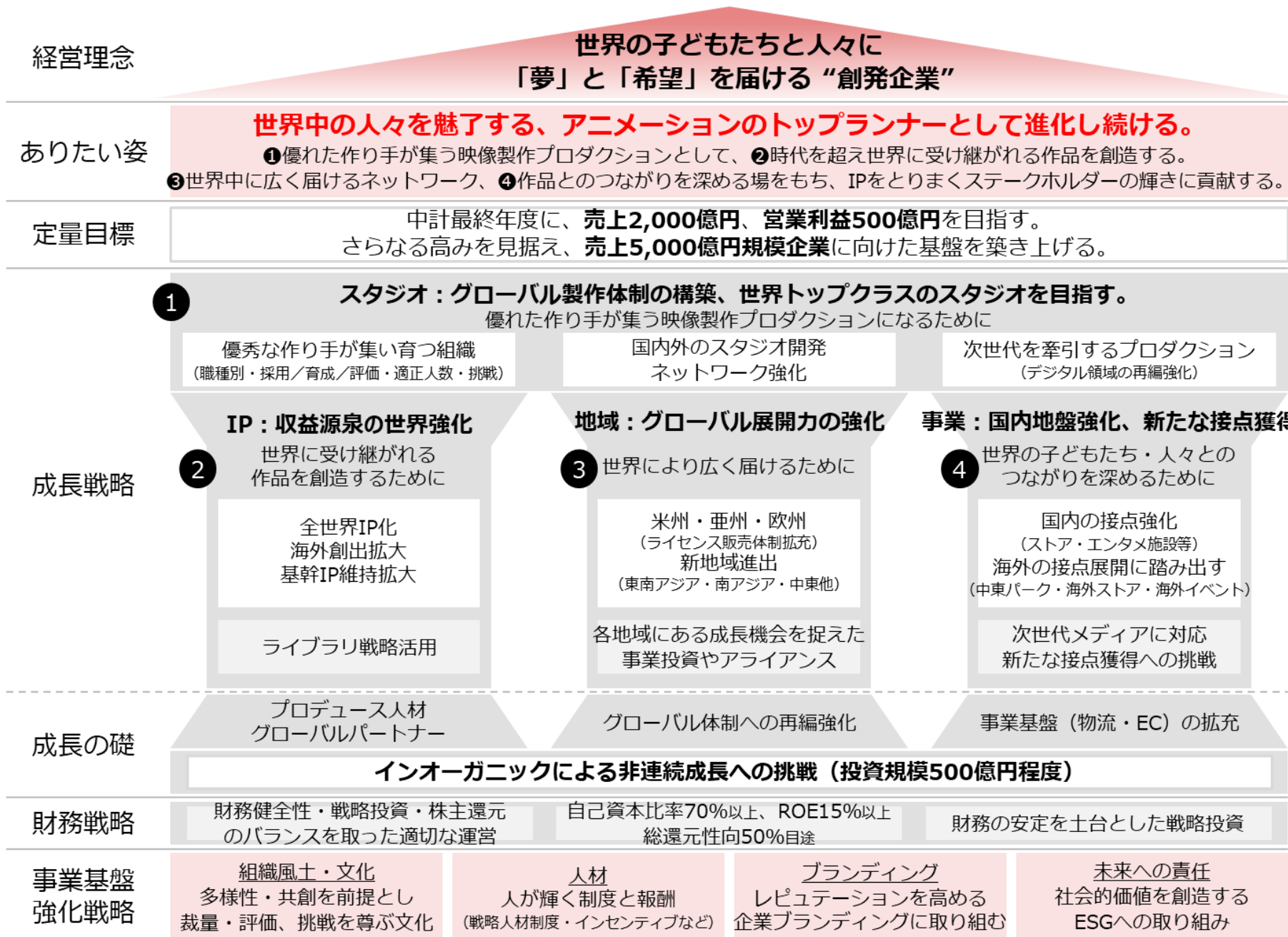
2027年3月期





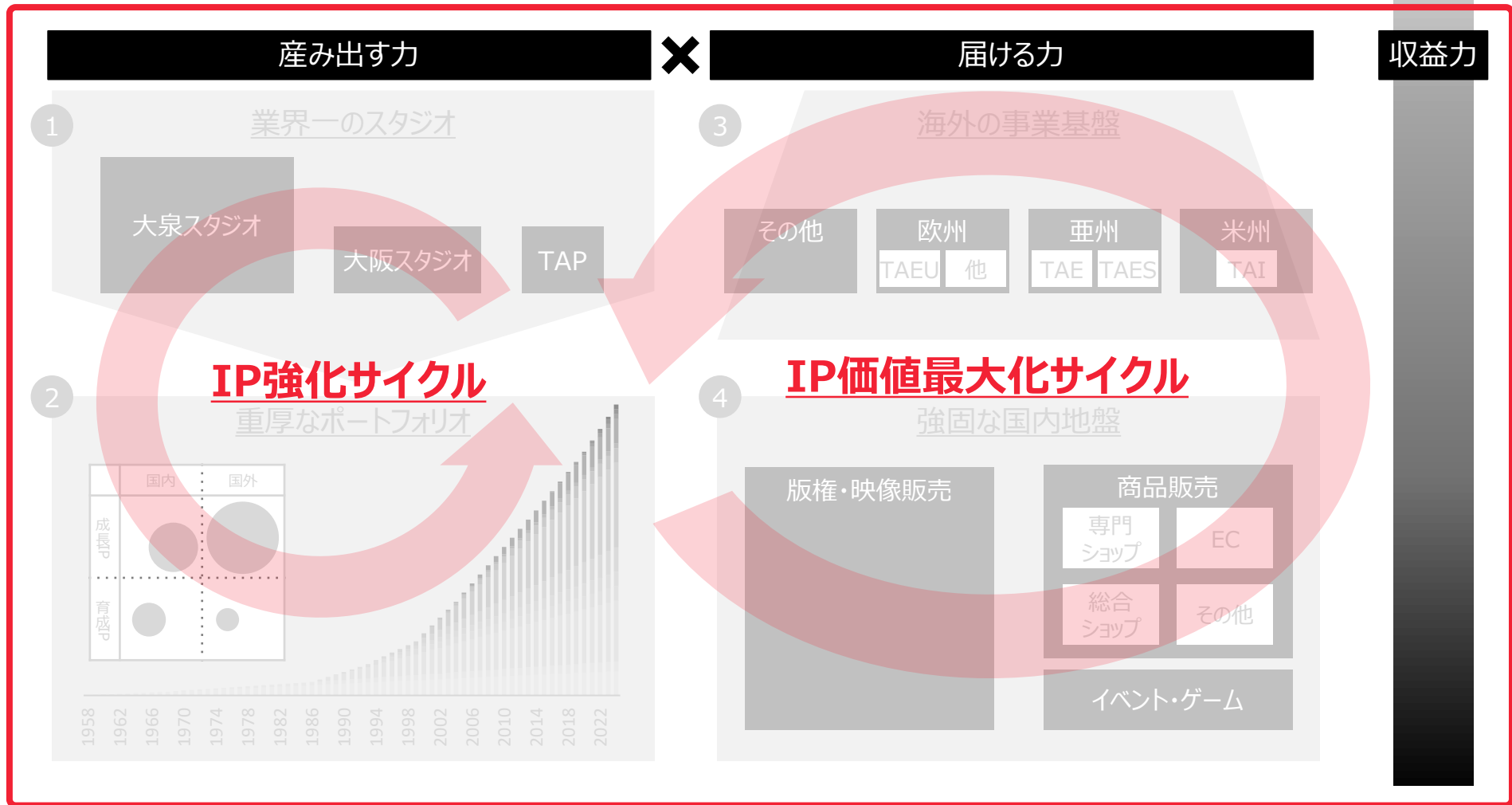
03

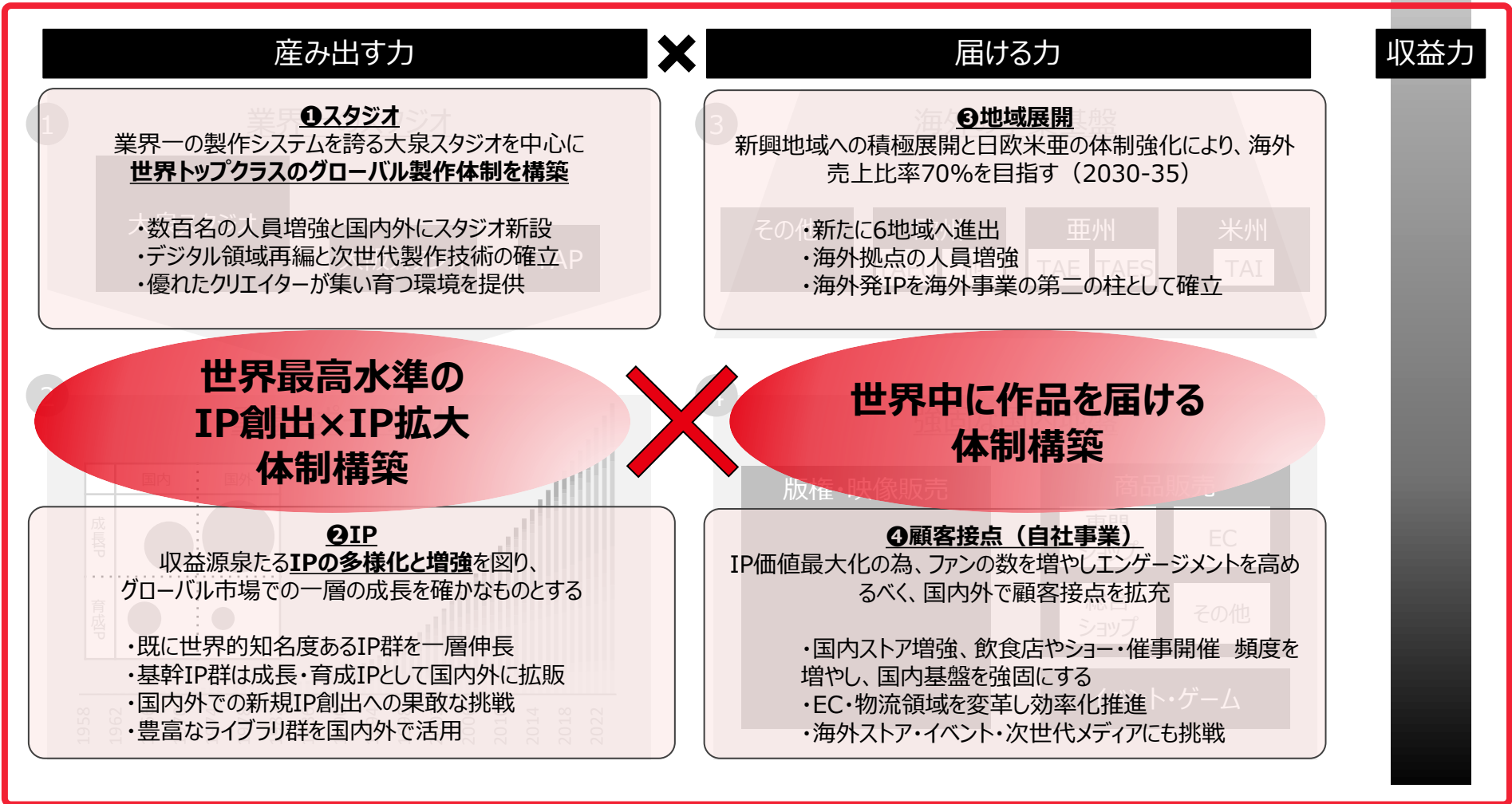
今後の事業展望



- 1** 【スタジオ】
優れた作り手が集う
映像製作プロダクション
になるために
- 2** 【IP】
世界に受け継がれる
作品を創造するために
- 3** 【地域】
世界により広く
届けるために
- 4** 【顧客接点】
世界の子どもたち
人々とのつながりを
深めるために

**2x
Growth**



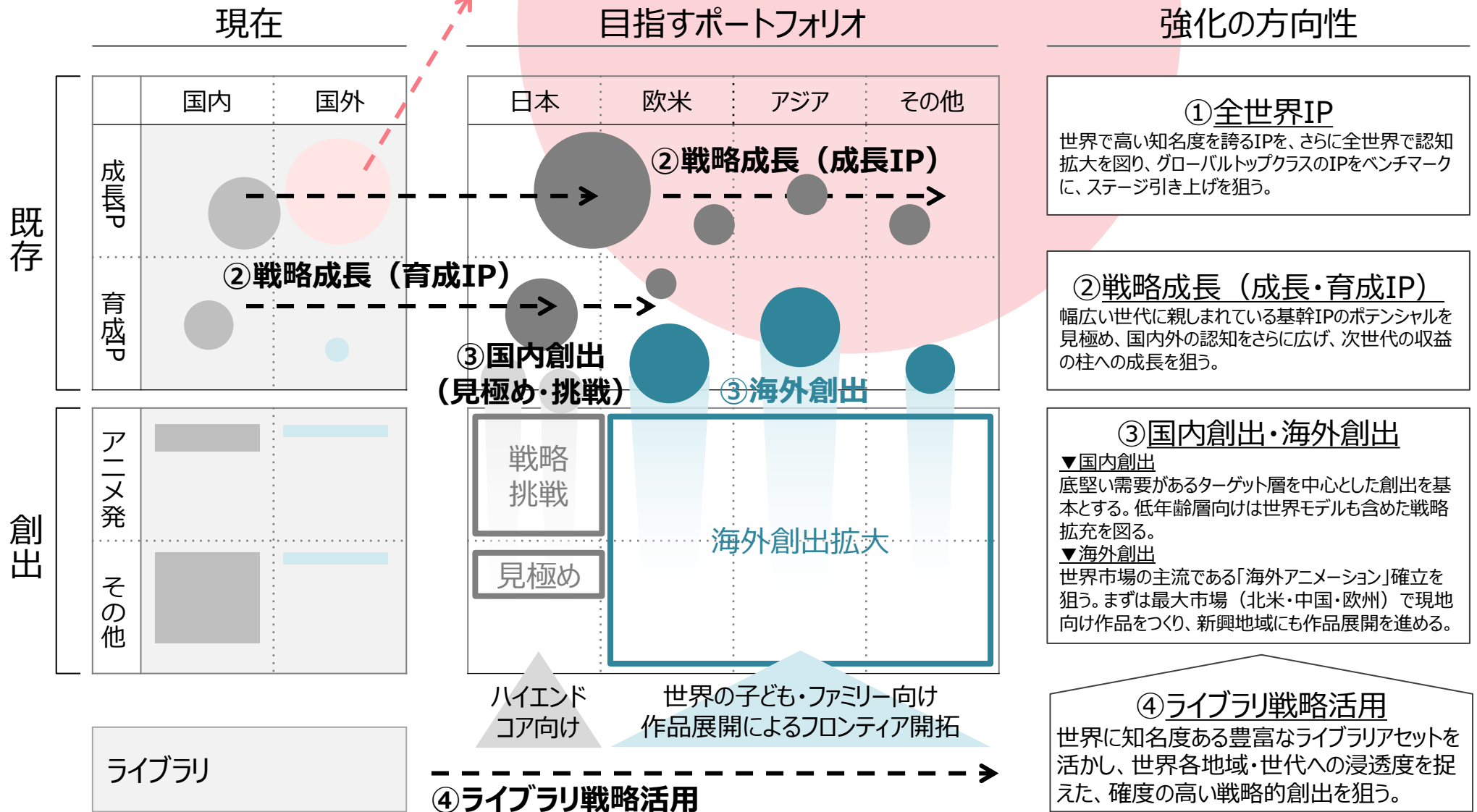


IPポートフォリオ×強化の方向性

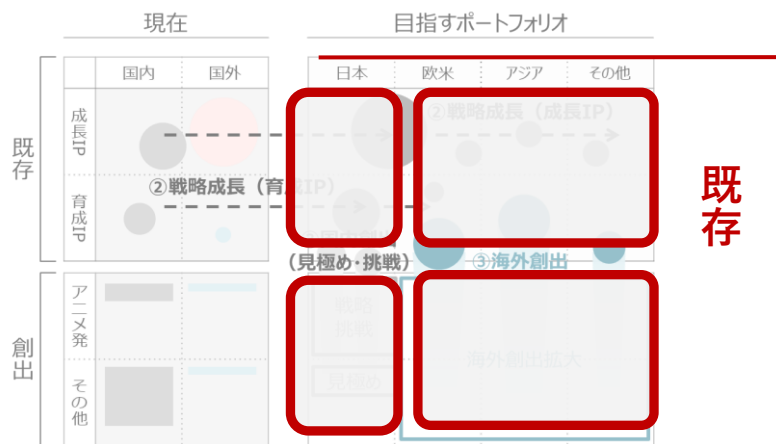
成長市場を見極め、世界での知名度を生かしたIP展開・IP創出を通じ、ポートフォリオの世界強化を図る。

①全世界IP

円の大きさ：収益規模イメージ → 破線矢印：強化の方向性



2026年度～2030年度



国内市場

世界市場

既存

創出

23本 / 185億円程度 A

- 国内向け成長IP・育成IP
- 国内で築いた安定基盤をさらに伸ばし、次世代の収益の柱を育成する

18本 / 300億円程度 B

- 全世界IP、海外成長IP
- 世界に知名度ある日本発IPのさらなる認知拡大、ステージアップを図る

15本 / 65億円程度 C

- ハイエンド・コア向け企画
- 底堅い需要があるターゲット層を中心とした創出を基本とし、新たなヒット作創出への挑戦を継続

38本 / 150億円程度 D

- 子ども・ファミリー向け企画
- グローバルパートナーとの共創企画
- 世界市場の主流である「海外アニメーション」確立を狙う

ライブラリ戦略活用

12本程度 / 創出53本 (23%程度)

	2026年度		2027年度		2028年度～	
	映画	シリーズ等	映画	シリーズ等	映画	シリーズ等
▶	2本	3本	1本	5本	3本	9本
▶	0本	5本	1本	3本	3本	6本
▶	0本	5本	1本	0本	4本	5本
▶	1本	4本	0本	1本	2本	30本
▶	0本	0本	0本	0本	2本	10本

※金額は作品に対する投資金額

※本数/金額ともに2026年4月30日時点の見込みにつき、変更の可能性有

※ライブラリ戦略活用：新規創出へのライブラリ活用（旧作だけでなく、既存IPを活用した新地域等に向けた完全新作も含む）

※金額未定の作品は投資金額0円として記載

	2026	2027-	時期未定
映像製作・販売	<p>「名探偵プリキュア！」 26/2/1- 放送</p> <p>「ワンピース」 26/4/5- エルバフ編 放送</p> <p>「ドラゴンボール超 ビルス」 26/秋 放送</p> <p>「楽園追放 心のレゾナンス」 26/11/13 公開</p> <p>「DIGIMON BEATBREAK」 25/10/5- 放送</p> <p>「おしりたんてい」 26/4/4- 新作 放送</p> <p>「映画名探偵プリキュア！」 26/9/18 公開</p> <p>○26/冬「楽園追放」新作ゲーム</p>	<p>「THE ONE PIECE」 27/2 配信</p> <p>「ワールドトリガー」</p> <p>「ドラゴンボール超 銀河パトロール」</p> <p>「ガールズバンドクライ」 完全新作映画</p> <p>「怪獣デコード アイダラの指輪」</p> <p>○新作ゲーム「ガールズバンドクライ First Riff」</p>	<p>「MONKEY QUEST」</p>
版權	<p>○26/夏「ドラゴンボール Sparking! ZERO」大型DLC発売</p> <p>○26/05「ONE PIECEカードゲーム ブースターパック 決戦の刻【OP-16】」発売</p> <p>○26/01「ONE PIECEカードゲーム エクストラブースター EGGHEAD CRISIS【EB-04】」発売</p>	<p>○27/未定 新作ゲーム「ドラゴンボール ゼノバース3」発売</p>	
商品販売	<p>○26/03「ONE PIECE 麦わらストア名古屋 出張店」開催</p>		
その他	<p>○26/01「ドラゴンボール ゲンキダマ祭り」開催</p> <p>○26/02「キミとアイドルプリキュア♪感謝祭」開催</p> <p>○26/04「ワールドトリガーフェスティバル2026」開催</p> <p>○26/02, 03「ガールズバンドクライ トゲナシトゲアリ Zepp Tour 2026 “拍動の未来”」開催</p>	<p>○26/11「ガールズバンドクライ Special LIVE “赤色の響祭”」開催</p> <p>○26/8, 9, 11, 12「Anime WORLD TRIGGER Exhibition “REBOOT”」開催</p>	<p>2026.11.3 (水・祝) ぴあアリーナ MM</p>



【見通しに関する注意事項】

当資料に記載されている内容は、現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、記載された将来の計画数値、戦略、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

©ABC-A・東映アニメーション ©本郷あきよし・フジテレビ・東映アニメーション ©2025 映画キミとアイドルプリキュア♪製作委員会 ©トロール・ポブラ社/2025「映画おしりたんてい」製作委員会 ©東映アニメーション ©水木プロ・東映アニメーション ©東映アニメーション ©バード・スタジオ/集英社・東映アニメーション ©本郷あきよし・東映アニメーション ©Bandai Namco Entertainment Inc. ©尾田栄一郎/集英社 ©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©ABC-A・東映アニメーション ©東映アニメーション ©映画「鬼太郎誕生ゲゲゲの謎」製作委員会 ©ABC-A・東映アニメーション ©本郷あきよし・フジテレビ・東映アニメーション ©トロール・ポブラ社/おしりたんてい製作委員会 ©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©バード・スタジオ/集英社・東映アニメーション ©2026 映画名探偵プリキュア!製作委員会 ©東映アニメーション・ニトロプラス/楽園追放ソサイエティ ©尾田栄一郎/集英社・「THE ONE PIECE」製作委員会 ©2026 TOEI ANIMATION ©葦原大介/集英社・東映アニメーション ©TSUBURAYA PRODUCTIONS, TOEI ANIMATION ©東映アニメーション ©バード・スタジオ/集英社・東映アニメーション ©バード・スタジオ/集英社・東映アニメーション ©Bandai Namco Entertainment Inc. ©東映アニメーション

■ 中野オフィス

〒164-0001 東京都中野区中野四丁目10番1号
中野セントラルパーク イースト 5階

■ 大泉スタジオ/東映アニメーションミュージアム

〒178-8567 東京都練馬区東大泉二丁目10番5号

□ 海外拠点

TOEI ANIMATION INCORPORATED (ロサンゼルス)
TOEI ANIMATION EUROPE S.A.S. (パリ)
TOEI ANIMATION ENTERPRISES LIMITED (香港)
TOEI ANIMATION (SHANGHAI) CO., LTD. (上海)
TOEI ANIMATION PHILS., INC. (マニラ)

